



<http://kinkifukusha.jp>

複写 NEWS No.238

本紙は組合員様に組合活動を出来るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。是非ともお読みください。

発行:近畿複写産業協同組合
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5-6
TEL06-6201-4766・FAX06-6201-4768
発行責任:楠本雅一
監修責任:桑田鞆比古
編集制作:小野恵美子
問い合わせ:knk-fuku@kinkifukusha.jp

平成25年新年互礼会 特集号

平成25年1月10日 恒例の「新年互礼会」を開催致しました。

今年も、大阪ステーションシティ ノースゲートビルディング 28階 「ラグナヴェールプレミア」にて、新たに加わられた組合員様や賛助会員様併せて82名の多くの方々と共に、活気溢れんばかりの新年の寿ぎを祝しました。

例の如く満田専務理事の司会進行で、先ずは

近畿複写産業協同組合 楠本雅一理事長の挨拶で幕開けです。

新年明けましておめでとうございます。

近畿複写産業協同組合理事長の楠本でございます。昨年は組合の諸事業へのご参加、ご協力を賜りまして組合の理事一同を代表しまして、高い席からではございますが、心よりお礼申し上げます。

さて、近畿複写産業協同組合は本年をもちまして満50歳を迎えることになりました。50歳といえば、人間で言いますと論語の中にあります、「50にして天命を知る」といった年になった訳です。そういう歳の中で尚且つこういう危機的なあるいは、複写業そのものが大きな曲がり角に来ている中で、改めて「協同組合の天命とは何か」といったことを、皆様方と共に考えて行かなければならないと思っている次第でございます。

組織には3つの価値があります。1つは、こういう組織が存在することによって、自ずと生じる価値であります。同じ業をしている方々が、またその周辺で共に市場を共有する皆様方、あるいは市場をつくりだそうとしている賛助会員様、ともにこういう場に来ることができる、そこに自ずと場の価値が生じるのではないのでしょうか。会うだけで存在する「場の価値」というものです。

また、そういう場に様々な方々がお集まりいただくわけですから、皆様方はいろいろな力をお持ちです。それは社会に貢献する、ゆえに我々業界が社会から必要とされ、存在することが許されるというこ



とであります。常に社会から必要とされるものを供給することができる、そういう力をもっていかなければなりません。ここに我々の組織の「力の価値」というものが存在するのではないかと思います。

そこに場があって、人が集まる、企業が集まる、自ずとそこには力が生まれます。それは、目に見えないものもあれば、まさしくビジネスとか目に見えるもので表れるものもあります。場の価値と力の価値により、その場に集う方々に「利の価値」を還元することができます。

場の価値、力の価値、利の価値などこれら3つが連続して連鎖して上昇していくような、そういうイメージ、これらが50年の歴史を培ってきたのではないかと、それを改めて感じています。

今のこのような変革期の中で、あらためて我々がこの組織をつかってすべての幸福を追求するために、組織の基本である3つの価値をもう一度しっかりと組合が考え、そしてそれを事業に展開して初めてこの天命というものが達成されるのではないかと考えています。

今年、5月29日、皆様方にお集まり頂いて先輩たちに築いて頂いたこの50年の歴史をともに共有したいと思っています。この業界に集まれる皆様方のお一人でも多くの方々に御参加いただくことをお願い申し上げます。また、全国の仲間にもお越しいただきまして、ささやかな小宴を催したいと思っています。ぜひ5月29日をご記憶いただきましてご参加を賜われれば幸いです。

結びの言葉になりますが、近畿複写産業協同組合の運営並びに諸事業につきまして、旧に倍しまして、ご支援をいただきたく、また、本日出席の皆様方のご健勝とさらにご社業の益々のご繁栄をご祈念申し上げます。はなはだ簡単ではありますが、新年のあいさつに代えさせていただきます。

本日はご参加いただきまして、誠に有難うございました。

続きましてご来賓のご挨拶を頂戴いたしました。

大阪府中小企業団体中央会 事務局長 山野義雄様です。

皆様新年明けましておめでとうございます。昨年は、我々中小企業にとって引き続き厳しい状況が続いた年でありました。ロンドンオリンピックでの日本選手団の活躍や山中教授のノーベル賞受賞など明るい話題もありましたが、消費税の増税をはじめとして多くの懸念を抱えながら昨年、総選挙が行われ、年末には株価が1万円を超え、円が86円にもどすというような円高から円安への動きをみせたところでした。願わくば安倍政権には、道を誤ることなく、真の景気回復まで一押し進めてもらいたいと思っています。



ちなみに今年の干支は、巳でございます。**相場の格言**に「辰己天井」「午尻下がり」というものがあります。昨年の辰年は、先ほど申しあげましたように年末に何年か振りに、株価・円が好転するという状況をみせました。格言通りにいきますと、今年の巳年はさらにこれが続伸していくはずですので、この格言どおり進むことを期待したいと思っています。

それから話題は変わりますが、昨年の紅白歌合戦のトリはいきものがかりというグループの「風が吹いている」という曲でした。これはロンドンオリンピックのNHKの応援歌でありまして、日本選手団が曲名通り大きく活躍しました。政界では自民党に大きな風が吹きました。中小企業に、この風が吹きますように願っています。

中央会もそのためにできることは一つずつ少しでもやっていけるように全力を尽くしてまいります。皆様方にもご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。年頭にあたりまして、近畿複写産業協同組合の皆様方におかれましては、まだまだ厳しい状況が続きますけれども決意を新たにされまして、貴協会の発展のため一層のご尽力をいただきますように、また本年が皆様方にとりまして希望に満ちた輝かしい年となりますことをご祈念申し上げましてごあいさつとさせていただきます。

続きまして、賛助会員様を代表致しまして**富士ゼロックス大阪株式会社 代表取締役社長 望月俊之**様よりご挨拶を賜りました。



皆様新年あけましておめでとうございます。富士ゼロックスの望月と申します。日頃はゼロックスの製品並びにソリューションを多数ご採用、ご愛顧頂きまして、誠に有難うございます。高い席からではございますが、心よりお礼申し上げます。

先ほど楠本理事長のご挨拶の中にもありましたように、50周年ということですが、ゼロックスグループは、昨年で50周年、まさに皆様方と同じ時代に駆け巡ってきたのではという思いで、大変感慨深いものがあります。

また、年明け日本事務機新聞掲載の楠本理事長の挨拶の中で、特に印象に残ったのは、PODのことに触れられておられました。あれは理事長から「お前たちメーカーも、本気で市場をつくりにいけ」と

というような叱咤を頂いたように思いました。我々メーカーも、本当に真剣に市場を作るつもりで取り組んでまいりますので、ぜひとも皆様方のご支援、ご鞭撻をお願いしたいと思います。

最後になりますけれど、本日ご参会いただいている皆様方のご社業の今後益々のご発展と、ご健勝を祈念申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

続きましてリコージャパン株式会社 関西営業本部 本部長 坂主智弘様にもご挨拶を賜りました。

皆様、明けましておめでとうございます。ご紹介頂きました坂主でございます。まずは、新年にこのように盛大な会を催されたことに敬意を表す次第であります。

日頃は私どもの製品をご愛顧賜りまして、誠に有難うございます。50周年という歴史の中で、私ども感光紙の時代から、ずっと皆様方に支えられてまいりました。本当に有難うございました。厚く御礼申し上げます。



日頃私どもの製品を皆様方、また社員の皆様方に大変可愛がって頂きまして、高い席からではございますが、御礼申し上げる次第です。

新年明けましてから、少し明るくなったということは、これまでの皆様方の中のお話の中にもありました。しかし、実感、実態というものは、まだまだ感じられていないということが本当のところではなかろうかと思えます。しかし、見通しがあるのであれば、この追い風を何とか捉まえなければなりません。我々もモノから人へ、ハードウェアからサービスの充実というものを進めています。サービスというのは、今皆様方がまさしく社業となさっているところでもあります。やはり、複写産業の皆様は、一番お客様の近いところにおられて、お客様が望まれるサービスを展開してこられた、サービス業としてのノウハウを持った先輩だと感じております。もう一度、皆様方とこの追い風を受けるべき、新たなサービスというものを追求していきたいと思っています。モノから人へという言葉に胸に、楠本理事長からお話しがありました、3つの価値を実現すべく頑張っていきたいと思っています。

ぜひともこの1年を、皆様方と力を合わせてやらせて頂きたい。50周年さらに、その先に続く新しい年に明るい未来が次々と展開できる、そんな起点の年にできるよう、一緒にやっていきたい、そのように考えております。

皆様方にこの1年、ご健康でありかつ社業が発展されますよう、複写機のメーカーが力を合わせてい

くことをご祈念申し上げまして、ご挨拶にかえさせていただきます。本当に本日はおめでとうございます。

続きまして乾杯のご発声をキャノンマーケティングジャパン株式会社 大阪支店 支店長 岩本正義様をお願い致しました。

新年明けましておめでとうございます。キャノンマーケティングジャパンの岩本でございます。まずは、昨年度キャノン陣営が誠にお世話になりました。この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。



さて、諸外国を含めまして新しいリーダーのもとで、新しい年がスタートいたしました。間違いなく新しい風が吹くと期待しております。新しい風、この様な環境の中には、必ずビジネスのチャンスが発生するといわれております。今年は、昨年以上に皆様と共にビジネスのチャンスを着実につかむ、そんな一年にしていきたいと思っております。それに伴いまして、私どもも全力で、製品・サービスを着実にタイムリーに皆様方にお届けして参りたいと思っております。どうぞ本年もよろしくお祈り申し上げます。

乾杯のご唱和と同時に会場のカーテンが開き、大阪の夜景が広がる中、歓談が始まりました。



[未来を担う若手組合員様]



[ご歓談の様子]



昨年、組合に新しくご参加頂きました組合員様をご紹介致しました。

(有)布施技術社 代表取締役 布施 康久様です。



滋賀から参りました。よろしくお願いします。

彦根というと最近で有名なのは、「ひこにゃん」です。ゆるキャラ祭り、全国のゆるキャラが集まってきます。熊本も頑張っていますが、彦根がダントツなんです。彦根に2万通の年賀状がきました。ありがとうございます。私もひこにゃんを見習ってファンファンとしています。私は「一生懸命がんばります」という言葉、実は、大嫌いなんです。皆さんよろしくお願いします。

続きまして昨年新しく賛助会員に加入頂きました方々をご紹介致しました。



富士ゼロックス京都(株) 代表取締役社長 浜田 英敏様

明けましておめでとうございます。富士ゼロックスの浜田でございます。組合様と一緒にさせて頂いて、本当に楽しくありがたと思っています。さて、京都・滋賀のテーブルが今日は一つだけしかございません。来年は二つ、再来年は三つにしたいと思っておりますので、ぜひこれからもよろしく

お願い致します。

富士ゼロックス兵庫(株) 代表取締役社長 森正一様

おめでとうございます。楠本理事長の熱い思いにいつも励まされております。複写組合の業態のなかで私も学んで、ご支援していきたいと思っております。そして、ぜひ組合のゴルフで優勝したいと思っております。よろしくお願い致します。

富士ゼロックス西日本(株) ソリューション・サービス担当統括長 中臣啓之様

明けましておめでとうございます。富士ゼロックス中臣でございます。今日は、当社社長米山の代理で参加させて頂いております。皆様方よろしくお願い申し上げます。初めて参加させて頂いたのですが、知っている方が多く、我が家に帰ったように思います。当社は事業開始して、7月1日で満1年を迎えます。組合様は50年、こちらの組合様を目指して一緒に共に頑張っていきたいと思っております。ぜひともよろしくお願い申し上げます。

リコージャパン(株)京滋支社 支社長 松崎 直敏様

皆様おめでとうございます。リコージャパン京滋支社の松崎でございます。初めて参加させて頂いております。ご案内に「非日常を味わってください」という事が書いてありまして、どんなことが起きるのかと思っていました。こんな素晴らしい会場で一緒できることに感動しております。先ほどの浜田様のお話にありましたように、市場を創造して富士ゼロックス様と手を組んでテーブルを増やしていきたいと思っております。ぜひ、よろしくお願い致します。有難うございました。

もう1社、本日はご参加頂けませんでしたがりコージャパン株式会社兵庫支社様にもご参画頂いておりました。

続きまして、本日ご参加頂いております賛助会員の皆様方をご紹介申し上げます。アイウエオ順にて

(有)エムアールデジタル	代表取締役 阿部 泰士様
桂川電機(株)	国内営業本部長 斎田 明様
(株)きもと	大阪支店長 阿部 昌之様
キャノンシステムアンドサポート(株)近畿プロダクション販売課	課長 益田 正己様
桜井(株)	中尾 憲一様
ダイヤモンド(株)	大阪支社長 時田 浩二様
富士ゼロックス(株) プロダクションサービス営業本部	部長 三浦 和彦様
(株)フジテックス	関西本部長 角田 斉様
リコーテクノシステムズ(株)常務執行役員関西事業本部長	安田 裕司様
(株)ワカホシ	代表取締役 浅沼 正嗣様



